

研究課題名	ディープ・ラーニング技術を用いた頸部リンパ節の評価についての検討
研究機関の名称	自治医科大学 放射線医学講座
研究責任者の氏名	藤田晃史
研究対象	自治医科大学附属病院で2015年4月1日から2019年3月31日までの期間に、当院で初めて頭頸部領域のCT・MRIをうけた17歳以上の患者さんのうち、検査目的が頭頸部領域の精査であった方を対象としています。
研究意義と方法	<p>頸部リンパ節は様々な原因で腫大します。その精密検査のために頭頸部のCT検査やMRI検査が行われますが、画像のみから原因をつきとめることは必ずしも容易ではありません。</p> <p>昨今、人工知能を使ってCTやMRIの評価をする試みが増えていきます。本研究では人工知能を用いて、コンピューターがリンパ節の腫大の原因をつきとめたり、リンパ節転移があるのかどうかをどのくらい正確に判定できるかを検討します。</p> <p>また、それに伴って以下の情報を診療録から収集します。</p> <p>(調査項目)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 年齢 2. 性別 3. 既往歴 4. 現病歴 5. 病理組織所見（頭頸部腫瘍に対して手術や生検が施行されている場合） 6. 超音波検査所見（頸部リンパ節の性状や血流） 7. CT・MRI画像（1. リンパ節に対する放射線科医による画像評価を行います。2. リンパ節の写っている部分を切り出して、コンピューターによる学習・評価に用います。）
研究期間	許可されてから2025年3月31日まで 解析完了後 3年以内に学会・論文などで公表する。
研究に関する情報	この研究はキャノンメディカルシステムズ株式会社との共同研究を行います。CTやMRIの画像をキャノンメディカルシステムズ株式会社の教師データ作成支援ツール（試用版）を用いて編集を行い、その評価および改良点等のフィードバックを行います。 尚、キャノンメディカルシステムズ株式会社への患者様の情報提供はありません。

	<p>患者さんの診療録から上記のような情報を抽出して研究に使用します。解析対象であることを拒否される場合には対象から外させていただきますので、下記研究責任者までご連絡下さい。但し、連絡をいただいた時点ですでに情報が匿名化されている、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできませんのでご了承下さい。なお、研究対象とならなくても不利益を受けるようなことは一切ありません。ご希望の場合には他の研究対象者の個人情報等の保護及び研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料を閲覧または入手することができます。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>診療録から得られた情報は、研究責任者が必要な場合に個人を識別できるように対応表を作成して匿名化した上で研究に使用します。情報は研究責任者が放射線科医局において、書類であれば鍵のかかるキャビネットに、データであればパスワードを設定したファイルで管理し、USBメモリに保存して、鍵のかかるキャビネットに保管します。情報は研究終了後、一定期間（論文公表まで）保存した後に、シュレッダーによる裁断や、記録媒体の物理的破壊により廃棄・破棄します。研究成果は個人を特定できないようにして学会や論文などで発表します。</p>
<p>問い合わせ先及び苦情の窓口</p>	<p>問い合わせ先：自治医科大学放射線医学講座 准教授 藤田晃史 0285-58-7362（放射線科医局直通） 苦情申出先：自治医科大学臨床研究支援センター臨床研究企画管理部管理部門（電話：0285-58-8933）</p>